

(様式第 6 号)

## 鳥取県立厚生病院を受診された患者の皆さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で研究への協力を希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌患者の死因に関する がん登録を利用した後ろ向き検討 162号
当院の研究責任者 (所属)	鳥取県立厚生病院医療局消化器内科 部長 野口 直哉
代表研究責任者	鳥取大学医学部附属病院 第二内科診療科群 助教授 河口剛一郎
試料・情報の利用目的	根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌患者の、治療後の実態 (特に他臓器癌の合併)と予後(死因)を明らかにすること。また予 後不良患者でのリスク因子も明らかにする。
調査データ 該当期間	2008年4月1日から2017年3月31日までに早期食道癌の内視鏡的 切除手術を行い、除外基準のいずれにも該当しない患者を登録する。
利用方法 (使用する試料・情報の 項目)	患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。 患者背景 診断時所見(年齢、性別、確定診断日、診断方法、病理診断) 治療前所見[身長・体重、BMI、血圧、脈拍数、内視鏡所見(病変部 と背景食道粘膜、胃粘膜の萎縮状況も含む)、CT/EUS所見、臨床診 断(Stage)、採血データ(血液一般、生化学検査データ:総蛋白、 アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、ALP、GGT、BUN、クレア チニン、アミラーゼ、電解質、腫瘍マーカー:SCC、シフラ等)] 併存疾患、既往歴、生活歴(飲酒・喫煙)、家族歴 治療内容 食道癌は維持同時多発するため、初発及び再発病変について以下の治 療内容を調査する。 初回治療例(治療開始日、治療内容) 再発病変治療例(初発病変治療日、再発病変治療開始日、治療内容) 経過及び転機など
試料/情報の 他の研究機関への提供	鳥取大学医学部附属病院 第二内科診療科群 助教授 河口剛一郎へ提供

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化され、本研究では匿名化された情報を使用、提供します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。</p>
<p>連絡先</p>	<p>〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町 150  鳥取県立厚生病院  電話：0858-22-8181 FAX：0858-22-1350  担当者：野口 直哉（消化器外科）  この研究に関する情報は、厚生病院のホームページに掲載しております。  (URL： <a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/270455.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/270455.htm</a>)</p>
<p>研究対象者又はその代理人の拒否の意思を受け付ける方法</p>	<p>連絡先への電話、FAX 及び直接口頭にて拒否の意思を受け付けます。</p>